

シンポジウム：保健・医療・福祉を担う人材育成について－いま求められる人材像－④

出会う つながる 動き出す

田中 弘子

青森県ソーシャルワーカー協会 会長

NPO法人日本ソーシャルワーカー協会市民活動支援委員長

NPO法人あおもりNPOサポートセンター 理事長

I. 「出会う・つながる・動き出す」ネットワークづくりの原点

大学の恩師から「常に問題意識をもて」ということを学び、それを意識し続けてきたことが、気がついたら仕事からつながった国内外の広域ネットワークや地域活動ネットワークづくりの土台になっていた。

私の地域活動は、社会福祉・社会教育・NPO・文化活動・子育て支援・まちづくりも「出会う・つながる・動き出す」という人とのネットワークから、自然に積み上げられてきた自分の生き方そのものである。

II. 新しい公共という仕組みづくりに向かっていくコーディネーターの育成

1. いろいろな人たちとのかかわりを楽しむ
2. 保健・医療・福祉のキーマンをつなぐコーディネーター

ト力を培う

Ⅲ. 仕事や地域活動を通して出会い・つながり・動き出したネットワーク

1. 福祉事務所のケースワーカー時代

1) 官と民の学習の場を求めて、青森県ソーシャルワーカー協会へ入会

(1) 官と民のともに学ぶことが協働につながることを学ぶ

(2) 日本ソーシャルワーカー協会会長との出会い

① 青森県ソーシャルワーカー協会再設立にそそいだ会長のパッション

② 職場の上下関係なしに腹をわって話しあえる協会のミッションに共感（

③ 人権学習の場

2. 保健センターの保健予防、国民健康保険の仕事をしてきた時代

1) 医療職・看護職・食生活改善推進委員会との出会いとつながり

2) 女性の視点を行政の中に吹き込んでいくことと女性職員育成のグループづくり

3) 「ひろさき創生塾」にかかわる（竹下内閣時代の1億円ふるさと創生基金）

(1) 市民が社会参加するという種まき

(2) 卒塾生が、まちづくりにかかわる仕掛人になり、NPO法人化に向かう

① NPO法人コミュニティネットワークC A S T（弘前市1号のNPO法人）

② 奈良美智作品展覧会から設立されたNPO法人harappa

③ 津軽の新しいライフスタイルを提供する「弘前見探図」

3. 教育委員会で生涯学習、社会教育、公民館の仕事をしてきた時代

1) 生涯学習情報提供ネットワークシステムの開設（各施設・学校ネットワーク）

2) コーディネーター研修開催で出会った「大久保一座」とのつながり

① 文化ボランティアと行政がともに学ぶことが動きはじめた文化庁委嘱事業「文化ボランティア全国フォーラム」の第3回を平成19年8月に弘前で開催

3) ボランティア支援センター開設にいたったアメリカのNPO・ボランティア視察

4) 男女共同参画学習から「きらめき女性塾」にか

かわる（1億円ふるさと創生基金）

(1) 卒塾生が「NPO法人青森県男女共同参画研究所」を設立

(2) 〃 環境子どもミュージカルグループ「リエゾン」を設立

5) 中央公民館「青年プロジェクト塾」を開設（1億円ふるさと創生基金）

(1) 卒塾生が「NPO法人スポネット弘前」を設立

4. 文化会館・市民会館・駅前市民ホールという文化行政の仕事をしてきた時代

1) 官と民のギャラリーの点と点を線にした、しかけづくり

(1) 「ギャラリーネットワークひろさき」設立（現在50ギャラリーがつながる）

(2) 弘前の観光行政と平成20年に実施する弘前検定につながる

2) 音楽団体の点と点を線に、そして面にした、しかけづくり

(1) 「音楽ネットワーク弘前」の設立

(2) 音楽ネットワーク弘前へ委託して「弘前音楽祭」を平成20年2月10日開催

3) 市民会館・駅前市民ホールに文化ボランティア導入

4) NPOや地域活動のキーマンでつくる「キーマンネットワークひろさき」の設立

5. ボランティア活動の課題からNPOのミッションを学ぶ

1) 行政ではなかなかできない縦や横のつながりができる

2) 有償、無償どちらも自分たち（組織）が決め、報酬が目的ではない新しい形の公益性の確立

(1) 地域にNPOを広め、NPO活動をサポートしながら成熟した市民社会を

(2) 行政、企業など多様な組織と人をつなぎ、課題を解決していく

3) NPOのミッション

(1) 保障された財源があるわけではないのに、困っている人や社会環境が危機にさらされているなら資金や人材がなくても動き出すという自発性

(2) 新しい公共という仕組みづくりに向かっている

4) NPO推進学習受講生から「NPO法人弘前子どもコミュニティ・ぴーぷる」など数多くのNPO法人が誕生

- 5) 弘前のメインストリートである土手町にはNPO事務所が4カ所・NPO通り？

IV. 官として民としてのコーディネーター

- 1) 官と民がともに学ぶことから、キーマンと出会い・つなげるしかけから・動き出すというネットワークづくりにつながった

V. 保健・医療・福祉を担う人材育成は、成熟した市民社会・住民から公をつくるという新しい公共という仕組みづくりに向かっていくコーディネーターを育てること